

# 病害虫発生情報

平成22年8月18日

【水 稲】～イネ病害虫の発生予想と防除について～

## (穂いもち)

穂いもちの発生は、少ない見込みです。長期持続型箱施用剤を使用し、葉いもちの発生がない場合は、出穂前の防除を削除できます。葉いもちが発生している圃場では出穂前後の2回の防除を徹底してください。出穂後に天候不良が続く場合は穂揃期の防除後7～10日後に再度防除してください。

## (トビロウンカ)

トビロウンカの発生は平年並みの見込みです。坪枯れは少なく、局所的な発生にとどまると見込まれます。しかし、一部で密度が高い圃場が確認されています。ヒノヒカリなどの中生品種では8月25日～9月1日頃に成虫および幼虫の数が1株当たり5頭以上確認された場合は防除してください。

## (斑点米カメムシ類)

斑点米カメムシ類の発生は平年並みです。今後出穂するヒノヒカリ等の作付け圃場では、穂揃期の防除を徹底してください。その後もカメムシ類が認められる場合は7～10日後に防除を行ってください。既に出穂しているコシヒカリ等の作付け圃場では、クモヘリカメムシ等の大型のカメムシ類が認められる場合、直ちに防除をしましょう。

水稻及び農薬等でご相談がありましたら、中部営農センターまでお尋ね下さい。中部営農センターの掲示板にも随時病害虫防除情報、使用農薬等を掲載しております。

防府とくち農業協同組合  
中部営農センター  
0835-27-3200  
(フリーダイヤル)0120-704-831